ボーリング柱状図

調　　査　　名　第二種漁港　豊島漁港　漁港海岸保全施設整備事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	2	6	1	4	0	0	2

シートNo.　2

ボーリング名	No.2	調査位置	第二種漁港　豊島漁港　漁港海岸保全施設整備事業に伴う業務委託			北緯	34° 10’ 33.6032″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			調査期間	平成27年12月16日～平成27年12月17日	東経	132° 48’ 24.2049″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	CDL 0.75m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0北 0° 270 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D2G-58　ハンマー落下用具：半自動型
総掘進長	9.00m								エンジン：ヤンマーNS-130　ポンプ：東洋BP1

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1	0.05	0.70	0.70		捨石	淡茶灰			径70ｃｍの捨石		
	-0.75	0.80	1.50		砂礫	暗茶褐	緩い		径5～7cmの礫を主体とする		
2					礫混り粘土質砂	暗茶褐	緩い		崖錐堆積物 径1～3cmの角礫～亜角礫を30～40%混入する 砂は細～中砂主体 部分的に粘土分を多く含み，砂質粘土状を呈す		
3											
4											
5											
6	-5.65	4.90	6.40				中くらい				
7					泥質岩	茶褐			泥質岩の風化土 軟質であり、角礫状を主体として採取される 採取した試料は指圧で崩せる 岩級区分：DH		
8											
9	-8.25	2.60	9.00								
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	3	3	3	9/30	9
1.45					
2.15	2	3	4	9/30	9
2.45					
3.15	3	3	4	10/30	10
3.45					
4.15	3	2	2	7/30	7
4.45					
5.15	4	4	7	15/30	15
5.45					
6.15	8	8	34/8	50/28	54
6.43					
7.15	15	18	17/6	50/26	58
7.41					
8.15	10	20	20/6	50/26	58
8.41					
9.15	50			50/10	150
9.25					

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法	室内試験
1.15	2-1	㊀	含水粒度
1.46			
3.15	2-2	㊀	土粒含水粒度
3.45			

掘進月日
12/16
12/17